

令和5年度末までの離島振興計画の進捗状況〔浦戸諸島地域振興計画〕

	施策の内容	進捗状況
交通・通信	・魅力を全国へ情報発信し、市営汽船の利用客の増加を図る	・HPにイベント情報等を掲載。浦戸の魅力を随時更新中。
	・クリーンエネルギー船舶への更新も視野に、島民の利便性の向上と経営の合理化が両立する持続可能な航路運営	・既存船舶でも対応可能な取り組みについて今後検討予定。
	・定住促進、交流人口増加策など事業収入確保による収益改善	・浦戸地区の活性化や交流人口増加のため、市内の小中学校等の校外学習など学びの場として活用。今後、市外の小中学校向けにもPRできるよう検討していく。
	・イベント等の情報をSNS等により発信し、季節を通したイベントを企画・実施した利用者の拡大	・市関係各課と共催のイベントを実施している。
	・必要かつ効率的なダイヤのあり方の検討	・第3期塩竈市交通事業経営健全化計画を策定中であり、ダイヤのあり方も含めて、審議会を開催し検討を進めている。
	・浮桟橋を設置するなど、係留施設のバリアフリー化	・R5年度で実施設計を発注。R6年度で設置工事を発注予定。
	・生活基盤におけるICTの活用の検討	・光ファイバーを整備し、島民及び市の施設等の通信環境向上を図っている。
	・生活道路や排水施設の整備・維持管理 ・通信環境の拡充・高度化を推進	・今後検討予定。 ・光ファイバーを整備し、島民及び市の施設等の通信環境向上を図っている。
産業振興	・浅海漁業の振興に向けた支援	・塩釜市浅海漁業振興協議会から浅海養殖漁業振興対策事業として、浅海養殖等に係る各種試験事業に対し補助金を交付している。 R5実績：2,187千円
	・漁業環境の保全や海洋環境の再生	
	・漁家などの経営基盤の強化	
	・水産物のイメージアップと全国へのPRによるブランド化や高付加価値化	
就業促進	・施設整備などにより意欲と能力のある経営体の育成と経営の安定化	・サテライトオフィスとして整備可能な施設などについて、検討している。 ・今後検討予定。
	・テレワークやサテライトオフィス整備	
	・多様な働き方が実現可能な地域を目指す	
	・地域特性を活かした事業の開拓、島内での就業場所と就業機会の創出	
生活環境整備	・新規就業者の住まいの確保	・今後検討予定。
	・高齢者の就業促進	・今後検討予定。
	・道路や上下水道の維持管理	・今後検討予定。
	・電力の安定供給やごみの適正処理	・生活ごみを週2回、粗大ごみを年2回収し、ごみの適正処理を行っている。
	・排水施設の処理の実態に合わせた施設のコンパクト化の検討	・令和2年から4年にかけて、寒風沢漁業集落処理場において、機械・電気設備の更新工事を行った。
	・防災設備や消防団施設など防災安全機能の充実に向けたハード整備	・令和6年度は、石浜器具置場、朴島器具置場の移転を検討している。
	・情報通信環境や先端技術を応用した移動販売や無人・キャッシュレス店舗など、買い物弱者支援に関する環境整備	・各事業について関係各課と検討中。
	・住民の基本的な生活・生業・安全の確保といった生活環境の整備のあり方の調査、検討	・今後検討予定。
	・既存の住宅資源を活用した定住促進	・現在、居住している方々の住環境を充実させることを優先しつつ、浦戸地区の新たな移住・定住の増加が見込まれ次第、市街化調整区域の見直し等を含めて制度設計に係る検討を深めていく。
	・市街化調整区域の振興に必要な区域の見直し等の検討	
医療確保	・住民の健康の維持、増進のための保健事業実施	・関係各課と調整を行っている。
	・高齢化に対応した安定的な診療体制を維持	・週1回、浦戸診療所を開設し、医師による診療を行っている。
	・医師確保について、遠隔医療といったICTの導入検討	・令和6年度において、電子レセプトによる医療会計システムを導入し、オンライン資格確認システムを設置する予定である。
	・本土側への島民の通院環境及び消防艇による救急医療体制の充実、救急搬送の時間短縮 ・感染対策の普及啓発、生活や経済への影響を最小限に止める感染症拡大防止	・塩釜地区消防事務組合が所有する消防艇により救急医療体制が確立している。 ・関係各課と調整を行っている。

令和5年度末までの離島振興計画の進捗状況〔浦戸諸島地域振興計画〕

	施策の内容	進捗状況
介護サービス確保	・老人福祉施設などの介護保険事業者が参入しやすい環境整備の調査検討	・今後検討予定。
高齢者などの福祉増進	・高齢者の交流スペースを活用した生活状況の把握と状況にあった支援	・各ステイ・ステーションや集会所等を活用した住民自主活動や、介護予防に関する健康講話などの際に、参加者の生活状況等の実態把握や、必要に応じた支援を実施している。
	・塩竈市浦戸いきいきふれあいサロン運営事業や介護予防教室の実施	・いきいきふれあいサロンの運営については令和元年度で終了。現在は各地区での自主活動の支援を実施しているほか、介護予防に関する健康講話等を各地区で実施している。
	・島外の家族等とつながるICT見守りシステム等の新たな見守り体制の構築	・高齢者あんしん見守り支援事業を利用している島民が1名おり、島外の家族等とつながる見守りシステムとして機能している。
	・地域のサークルによる各種活動を支援するための補助事業の展開	・補助事業を展開することで、各サークルの安定的な運営を支援した。
教育・文化振興	【学校教育】	
	・併設・特認校としての特色ある教育推進	・小中乗入れ授業の実践や複式授業の改善を通して、小中の連携を図り、9年間を見据えた学習指導を推進している。 ・浦戸諸島全体をフィールドとして観察や現地調査、外部講師による講話、インタビュー等の調査活動を実施。 ・児童生徒全員が役者としてステージに立ち、浦戸地域にまつわる伝説や歴史に基づいたシナリオで演劇発表を行っている。
	・学校の児童・生徒の通学にかかる市営汽船乗船料の経済的負担軽減	・島外から通学する児童生徒に対し、市営汽船の乗船料の2/3を補助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。 ・浦戸地区に居住する高校生の通学に要する経費の2/3を補助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。
	・地域の自然環境や食材を活かした環境教育、食育の充実	・豊かな自然や地域人材を活用し、探究的な学びと様々な体験活動を通して地域のよさ実感することができるよう教育課程を実施している。（アサリ採取、洋上体験、海苔すき体験・牡蠣むき体験等）
	・遠隔教育などによる教育の格差是正の検討	・外国語教育、国際交流の一環として、大学に留学している学生とオンラインによる交流を行った。
	・既存施設を活用した教育関係団体の合宿や教育旅行の誘致	・今後検討予定。
	・NPO、ボランティアなどによる社会教育・文化活動支援	・浦戸探究科の学習における自然体験や産業体験活動等において、多くの方々からの支援をいただいている。
	【文化振興】	
	・文化・歴史的資産の復旧と保存	・令和5年度は桂島石浜に、木柱劣化により破損状態であった「雨降石」の解説標識を「十二支方角石」「弘安十年銘供養碑」の解説標識との統一感を持たせた上で設置した。令和6年度は寒風沢島日和山展望台にある「しほり地蔵」の解説標識を設置予定。
	・島内に所在する文化財の把握、保存・活用するための計画策定	・令和4～7年の4箇年事業で塩竈市文化財保存活用地域計画を作成中。

令和5年度末までの離島振興計画の進捗状況〔浦戸諸島地域振興計画〕

	施策の内容	進捗状況
観光の開 発	・ 自然体験や漁業体験、牡蠣や海苔など豊かな食 材を活かした体験型観光や特産品の開発販売	・ 地域おこし協力隊と連携した島歩きイベントを 実施。
	・ 様々な媒体を利用した観光情報の発信、新規観 光客の誘致とリピーター観光客の増加	・ 観光物産協会のHPやSNS等で情報発信を行って いるほか、浦戸の観光振興に特化した地域おこし協 力隊による情報発信を行っている。
	・ 海水浴場の海底調査を行い、野々島及び寒風沢 の海水浴場再開に向けた検討	・ 今後検討予定。
	・ 公衆トイレなどの観光施設の再整備	・ 今後検討予定。
	・ 既存施設を有効活用して、観光客やボランティ アなどの活動や各種団体のイベント開催を支援	・ 桂島と寒風沢の漁業等後継者育成施設（ステイ ステーション）の有効活用について検討中。
	・ 防災集団移転跡地について、市街化調整区域の 区域の見直し等を検討し、観光資源として再生	・ 現在、居住している方々の住環境を充実させる ことを優先しつつ、浦戸地区の新たな移住・定住 の増加が見込まれ次第、市街化調整区域の見直し 等を含めて制度設計に係る検討を深めていく。桂 島の防災集団移転跡地において「桂島ビートサイ ドパーク整備プロジェクト」を開始、多様な世代 が集えるパーク整備を今後進める。令和5年度に一 部芝生化を行った。
国内外と の交流促 進	・ 地域資源を活かした滞在交流型観光の推進	・ みちのく潮風トレイルと連動し、インバウンド を中心としたメニューづくりを検討中。
	・ 多様な活動の支援や教育旅行の誘致	・ 広域連携（伊達な広域観光推進協議会、東北復 興ツーリズムネットワーク）の枠組みの中で教育 旅行誘致を行っている。
	・ 市営汽船の利便性の向上及び高校生の就学支援	・ 英文パンフレットを作成し、浦戸地区に居住す る高校生の通学に要する経費の2／3を補助し、 保護者の経済的負担の軽減を図った。
	・ 特別名勝松島の保存管理、交流促進のための効 果的な施策の検討	令和5年5月25日より、特別名勝松島の現状変更許 可等の事務が塩竈市に委譲され、迅速な手続きが 可能となった。
自然環境 の保全・ 再生	・ 枯死した樹木の伐採、感染予防薬剤の散布や植 林など、松くい虫の被害予防	・ 毎年、国や県の補助金を活用し、伐採、薬剤散 布を行っている。
	・ 植林については、耐性松を植樹するなど、強い 個体による原型復旧	・ 今後検討予定。
	・ NPO、ボランティア団体の受け入れなどを通 じ、多様な主体との協働による自然環境の保全と 再生	・ 今後検討予定。
エネル ギー対策 推進	・ 再生可能エネルギーによる災害に強い自立・分 散型エネルギーシステムの導入の検討	・ 本市環境基本計画改定に合わせて検討予定。
	・ カーボンニュートラルの施策やブルーカーボン の持つ役割を整理し普及、活用の検討	・ 本市環境基本計画改定に合わせて検討予定。
	・ 石油製品の価格低廉化支援	・ 島民が日常生活で使用する燃料（灯油、重油、 軽油）を輸送する宮城県漁業協同組合浦戸支所に 対して補助金を交付している。
防災対策	・ 防災行政無線や災害時FMラジオ放送、SNS などを活用した情報収集伝達手段の確保	・ 既に島内に整備している防災行政無線子局を含 め、令和6年度に防災ラジオの有償貸与事業を実施 中。
	・ 避難路及び災害時の緊急物資輸送ルート of 整備	・ 野々島の避難路整備については、現場確認を 行ったが、実際に工事ができない状況である。代 替案を検討する必要がある。
	・ 指定避難所や一時避難場所となるコミュニティ センターの整備	・ 指定避難所や一時避難場所については、防災会 議での議論が必要となるため、慎重に検討を行 う。
	・ 備蓄品や備蓄倉庫、避難所の自家発電装置、飲 料用貯水槽などの整備	・ 島内の状況に応じて、慎重に進めて参ります。
	・ 再生可能エネルギーを活用した自立・分散型の エネルギーシステムの導入	・ 仙台市主催のBOSAI-TECHを通じ、県内の自治体 状況を状況確認を行う。
	・ 塩竈市地域防災計画及び塩竈市津波避難計画の 改訂	・ 第五次被害想定調査結果を受け、令和6年度末 に改訂予定。
人材の確 保・育成	・ 新たな産業の創出や伝統的な地域産業の継続、 振興を行うため島外からの人材誘致	地域おこし協力隊制度を活用し、浅海漁業の担い 手を募集している。現在2名活動中、卒隊生5名は 漁業に従事している。
	・ ボランティアやNPO団体などの多様な活動を 支援し、多方面から地域振興の人材確保	・ 今後検討予定。
	・ 離島振興のための専門的な人材の育成	・ 島づくりの新たな担い手を確保することを目的 に、島に住み、島の一員として、島の魅力発信、 地域資源を活かした加工品開発など様々な事業に 取組む地域おこし協力隊を現在2名任用してい る。

令和5年度末までの離島振興計画の進捗状況〔浦戸諸島地域振興計画〕

	施策の内容	進捗状況
感染症発生時等の配慮	・感染拡大防止策や医療体制の整備強化	・コロナ禍においては、浦戸診療所でコロナワクチンの接種業務を実施。
	・他の地域と同様の生活の安定、福祉の向上に係るサービスが享受できるよう、必要な医療提供体制等の確保	・週1回、浦戸診療所を開設し、医師による診療を行っている。
小規模離島への配慮	・島民が日常生活を営むために必要な環境維持等への十分な配慮	・高齢化等に伴う「買い物困難者」への生活支援として、島内で買い物ができる環境を整える事業を令和6年度から実施する予定。